

## 県確認調査概要（当面の改善計画の進捗状況確認）

### 1 調査日時

- (1) 養 育 園 平成26年7月22日（火）午前10時から午後4時45分まで  
 (2) 更 生 園 平成26年7月23日（水）午前10時から午後4時45分まで  
 (3) アドバンス 平成26年7月25日（金）午前10時から午後4時45分まで

### 2 調査方法

県職員：1施設4名、のべ13名（23日は5名）

＊障害福祉課職員及び君津健康福祉センター職員で調査を実施

○ヒアリング

○関係資料確認（改善に係る進捗状況が確認できるもの）

○支援状況、施設環境視察

＊7月23日は、事業団の運営状況について理事長からヒアリングを実施

### 3 ヒアリング

マネージャー、サブマネージャーほか、各施設別に複数の支援員に対して実施。  
 支援員のヒアリングは施設長等他者の同席はなく、県職員と相対で個別に支援現場  
 の状況等を聴取（下（2）の者は事前に定めず当日朝に県側で対象者を指名）。

#### (1) 施設長等（聴取時間 約40分）

- ・養育園：マネージャー、サブマネージャー
- ・更生園：マネージャー
- ・アドバンスながうら：サブマネージャー

#### (2) 支援員等（聴取時間 約40分）

各施設2名

- ① リーダーまたは主席支援員
- ② 支援員

### 4 調査スケジュール概要

時 間	調 査 内 容 等
10:00～10:05	○確認調査主旨及び日程確認
10:05～10:45	○各マネージャー等ヒアリング
10:45～12:00	○リーダーまたは主席支援員、支援員ヒアリング （1人約40分）
13:00～14:30	○関係資料確認
14:30～15:30	○施設視察[各施設長等対応]
15:30～16:30	○県担当者、確認結果等打合せ
16:30～16:45	○総括

＊7月23日の理事長ヒアリングは、14:00から16:45まで実施

## 袖ヶ浦福祉センター等改善状況調査（概要）

### 【 養育園 】

#### 1 改善状況で評価できる点

- (1) 利用者の人権の権利擁護、虐待防止の取り組み
  - ・虐待防止に係る全体研修では、未受講の職員に対して、DVD等による受講できるよう、毎日時間を設定するなど、全職員のスキル向上に積極的に取り組んでいる。
- (2) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
  - ・パソコン上で共有するヒヤリハット記録は、日付、当該班、事例ごとにソート可能で閲覧しやすい状況になっている。
- (3) 職員の資質向上と人材育成
  - ・研修後のアンケートでは、職員自ら研修を振り返り、支援に生かせるよう項目が工夫されている。
  - ・新任職員からは、寮のリーダーを含め、相談しやすい環境であるとの話が聞かれた。また、相談については、丁寧に対応してくれるとの話であった。
- (4) 支援現場の透明性の確保
  - ・12月以降、継続的に第三者による施設巡回を行い、支援現場の透明性に努めている。6月2回（楨の実特別支援学校、苦情解決第三者委員）
- (5) 地域生活移行
  - ・成人に達している利用者4名について、継続的、発展的に地域移行に取り組んでいる。
- (6) その他
  - ・第2寮の出入口扉に、利用者の作品が掲示され、明るい雰囲気となった。また、第3寮デイルームの床を張り替えるなど、環境整備に積極的に取り組んでいる。
  - ・第2寮入口脇の老朽化したアクリル窓を交換し、明るい環境づくりに努めている。

#### 2 今後も継続的に改善を必要とする点

- (1) 利用者の人権の権利擁護、虐待防止の取り組み
  - ・利用者の他害行為等に係る対応及び支援方法について、研修等を通してスキル向上と共通理解が図られるよう努めること。
- (2) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
  - ・個別支援計画の保護者等の承諾について、今後も継続的に児童相談所と連携し、相互理解に努めること。
- (3) 職員の資質向上と人材育成
  - ・新任職員の「支援・業務ノート」について、担当リーダーからの回答が様式に基づいて記載されているケースと、回答に時間を要している若しくは回答なしのケースを確認した。新任職員の育成の観点から、適切なタイミングで丁寧に回答するよう改善すること。
- (4) その他
  - ・ヒヤリハット事例について、当該寮会議で対応を検討後は、その内容を他寮でも共有できるよう検討すること。
  - ・「寮日誌」から「育成記録」への転記ミス、転記漏れが確認されたことから、直ちに修正すること。また、「育成記録」が重要な活用ツールであることへの意識づけを徹底すること。

#### 3 その他（あらたに改善を必要とする点等）

- ・特になし

## 袖ヶ浦福祉センター等改善状況調査（概要）

### 【 更生園 】

#### 1 改善状況で評価できる点

- (1) 特別な支援を必要とする利用者への支援
  - ・利用者の特性に応じた支援がなされるよう、理学療法士や医師、看護師、歯科衛生士、栄養士等、専門家等も含めて指導・助言を受け、支援の適格性や質の向上に努めている。
- (2) 職員の資質向上と人材育成
  - ・研修の参加については、経験の少ない若手職員を優先して受講できるようリーダーが配慮しているとの話を聞くことができた。
- (3) その他
  - ・グループディスカッションは、各寮の支援状況等の情報交換の場に加え、職員間のコミュニケーションの場としても有意義であるとの話を聞くことができた。
  - ・「ヒヤリハット」は、パソコン上で適宜情報共有されている。また、閲覧者は名前をチェックするシステムになっており、閲覧の有無が確認できるようになっている。
  - ・「ヒヤリハット」、「事故報告」、「診療室利用、外部通院状況」等について、寮ごとに資料としてまとめられ、職員会議で情報共有がなされている。

#### 2 今後も継続的に改善を必要とする点

- (1) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
  - ・モニタリング会議への保護者の参加に努めること。また、個別支援計画について保護者等の同意が得られていない方がいるので、同意が得られるよう継続して取り組むとともに、利用者に適切な支援がなされるよう対応を図ること。
- (2) 職員の資質向上と人材育成
  - ・施設内研修においても、事後アンケートを実施し、職員の理解状況を把握し、研修内容、方法等の改善に努めること。
- (3) その他
  - ・施設長、マネージャー等が施設内巡回をした際、実施時間や支援、利用者の状況について記録するよう努めること。
  - ・利用者の不穏時に与薬状況を含めた利用者の様子及び支援内容について、翌日の引き継ぎで支援員、看護師が確認しているところであるが、与薬時の利用者の状況を踏まえ、与薬の必要性・的確性について看護師が把握し、支援員と意見交換するよう努めること。
  - ・寮日誌・支援記録については、記録者を記名するよう改善すること。
  - ・「第2支援グループさつき寮」の寮日誌について、4月分までしか綴じ込まれていなかったため、5月分以降、早急に整理するとともに、適切な時期に決裁を受け、取りまとめるよう改善すること。

#### 3 その他（あらたに改善を必要とする点等）

- ・特になし

## 袖ヶ浦福祉センター等改善状況調査（概要）

### 【 アドバンスながうら 】

#### 1 改善状況で評価できる点

- (1) 虐待防止体制に関する取り組み
  - ・ロールプレイは、具体的事例をあげた研修であり、自身の支援の気づきや、他寮職員と意見交換できるなど、有意義なものである。
  - ・これまで行っていた「虐待防止チェックシート」に加え、「支援振り返りチェックシート」を活用し、毎日の支援を振り返るようにした。
  - ・6月23日の研修後のアンケートでは、「説明責任」とのキーワードを挙げ、このキーワードについて自身の考えを記入するなど、研修後のフォローアップとなっていた。
- (2) 支援サービスの向上
  - ・事故報告は、これまでの指導を踏まえ、パソコン上の情報共有のみならず、報告書を各寮に配布し、ファイリングしていることが確認された。これまでより、情報を確認しやすくなったとの支援員の話が聞けた。
  - ・ヒヤリハット事例は、パソコン上で共有の後、寮会議で対応が検討され、職員会議で周知されている。また、再発防止に向け、発生場所、時間等が月ごとに集計されている。
- (3) 家族との信頼関係の構築
  - ・日中体験活動や若手職員との懇談会等、様々な方法で保護者との交流が図られるよう工夫している。若手職員との懇談会では、「必要に応じて、しっかり叱ってほしい」など、率直な意見交換が行われた。
- (4) 人材育成
  - ・サービス向上アンケート結果に基づき、「個別支援計画」に係る研修を実施し、職員の課題に合わせた研修を実施するなど、施設の人材育成の姿勢が感じられた。
- (5) その他
  - ・配薬は、看護師が各寮で行うよう改善された。この配薬が、各寮の巡回にもつながっている。
  - ・配薬表にチェック欄が設けられ、予薬後の確認が、記録されるよう改善された。
  - ・施設長、マネージャーは身近な存在で相談しやすいとの話が聞かれた。

#### 2 今後も継続的に改善を必要とする点

- (1) 虐待防止体制に関する取り組み
  - ・「振り返りチェックシート」は、必要に応じて見直しをし、職員の支援向上に継続的に努めること。
- (2) 支援サービスの向上
  - ・改善計画にある「行動障害」、「心肺蘇生」に係る研修を継続的に実施すること。
- (3) 家族との信頼関係の構築
  - ・個別支援計画は、今後も保護者等の同意に向けた取り組みを継続的に行うこと。
- (4) その他
  - ・施設長等が施設内巡回した際には、特記事項等の記録に努めること。
  - ・寮日誌・支援記録については、記録者を記名するよう改善すること。
  - ・寮日誌の決裁欄は、施設長のみとなっている。マネージャー、サブマネージャーも確認していることから、確認印欄を設けること。
  - ・寮日誌の利用者名記入は、名字のみ、名前のみなど統一されていないことから、氏名を記入するよう改善すること。
  - ・寮日誌から支援記録への転記漏れが、6月分で22件確認された。職員の意識向上と正確な記録に努めること。

#### 3 その他（あらたに改善を必要とする点等）

- ・特になし